

「変革 2027」達成に向けた取組み

◆ 「グローバルゲートウェイ品川」

品川～田町間の車両基地跡地において、2020年春に開業する高輪ゲートウェイ駅を核に「グローバルゲートウェイ品川」をコンセプトとして世界中から先進的な企業と人材が集い、多様な交流から新たなビジネス・文化が生まれる「まちづくり」を進めています。

高輪ゲートウェイ駅開業と、その後のまちびらきを契機として、国際交流拠点として成長し続けるまちをめざします。



詳しくは、こちらをご覧ください。 <http://cityup.jp/tokyoyardproject#top>

◆ 「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」

「日本海美食旅」をテーマに、2019年10月1日から12月31日まで「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」を開催中です。「ガストロノミー」とは「美食学」のこと。美味しいことはもちろんですが、その土地に内包された歴史や文化を尊重し、表現し、昇華させた料理を意味します。「食を通じて地域を知ること」を大切にしながら、日本海と雄大な山々に囲まれた新潟県と庄内エリアの豊かな食文化を発信しています。



新潟・庄内の食と景観を楽しむ
「海里」デビュー

新潟・庄内 ガストロノミー
日本海美食旅



詳しくは、こちらをご覧ください。 <https://www.jreast.co.jp/travel/niigata-shonai/>

◆ MaaSの取組み

お客さまのシームレスな移動と暮らしの実現をめざし「MaaS (Mobility as a Service)」を推進しています。お客さまのご利用シーンに寄り添った新しいサービス体験の提供に向けて、2019年4月に伊豆、10月に新潟で「観光型MaaS」の実証実験を行ったほか、「JR東日本アプリ」の大幅なりニューアルや他の交通事業者との連携などに積極的に取り組んでいます。

にいがたMaaS Trial
2019年10月1日～12月31日まで実施中!

「にいがたMaaS Trial」を詳しくみる
どんなサービスなの?
観光型MaaSの実証実験について詳しくはこちらをご覧ください。



「にいがたMaaS Trial」
トップページ

「変革 2027」達成に向けた取組み

◆ 相模鉄道との相互直通運転

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備を進めている利便性向上の事業として、相模・JR直通線が2019年11月30日に開業予定です。相模鉄道の西谷駅から羽沢横浜国大駅に至る新線とJR東海道貨物線を經由することで、相模鉄道の海老名駅と新宿駅方面を結ぶ相互直通運転を開始します。



◆ JRE POINT

「JRE POINT」が「乗って・買って貯まる」ポイントへ進化！

駅ビルやエキナカでのお買いもの、クレジットカードのご利用で貯まるJR東日本グループのポイント「JRE POINT」が、2019年10月1日から鉄道利用でも貯まるようになり、大きな進化を遂げました。お持ちのSuicaを「JRE POINT」のウェブサイトに登録していただくと、JR東日本の在来線1回ごとのご利用額に応じてポイントが貯まります。

詳しくは、
こちらをご覧ください。

JRE POINT 検索



◆ 渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期(東棟)開業

2019年11月1日に開業した東急株式会社および東京地下鉄株式会社との共同開発ビル「渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期(東棟)」は、展望施設「SHIBUYA SKY(渋谷スカイ)」、産業交流施設「SHIBUYA QWS(渋谷キューズ)」、商業施設、オフィスにより構成される渋谷エリアで最も高い約230m、地上47階建ての大規模複合施設です。新たに生まれた渋谷駅直結・直上のランドマークから新しい価値を発信し、地域とともに街の魅力を高めていきます。



©渋谷駅街区共同ビル事業者

◆ 訪日外国人旅行者向けICカード「Welcome Suica」販売開始

海外からのお客さまの利便性向上を目的に、JREAST Travel Service Centerなどにおいて、2019年9月からデポジット(預り金)が不要な「Welcome Suica」の販売を開始しました。

